



# 明化の教育

6月号(第479号)  
令和2年6月1日  
文京区立明化小学校  
校長 熊倉 勝

## 「感謝」この一言に尽きます

校長 熊倉 勝

「子供たちの声を聞くことができよかったです。元気をもらいました。」これは、各家庭に電話連絡をし終えた先生の言葉です。正直な気持ちだったのでしょうか、実に優しい笑顔で、話してくれました。また、オンラインクラスミーティングを行っている様子を見たのですが、どの先生もみな笑顔で楽しそうに子供たちに話しかけていて、穏やかな雰囲気を感じることができました。さらにミーティング中には、教室にいる他の先生たちから「返事がいいね。」「操作がみんな上手だね。」など微笑ましい会話も交わされていたのです。画面越しではありますが、子供たちの元気な様子を共有することで子供たちと関わることができる喜びを感じていたのだと思います。

待望の学校再開です。子供たちは、保護者の皆様は、地域の方々は、教職員はどのような気持ちでこの日を迎えたことでしょうか。私は、「感謝」の一言です。

- ・これまで様々なことを我慢し、家庭で頑張ってきた子供たちに感謝。
- ・子供たちを温かく見守り続け、毎週課題の受け渡しに来校するなど、家庭生活・家庭学習を支えてくださった保護者の皆様に感謝。
- ・オンラインクラスミーティングが順調に進むように「お試し ZOOM 会議室」を開いて、サポートをくださったPTA役員の方々に感謝。
- ・「地域としてご協力できることがあれば何でも仰ってください。」と励ましてくださった地域の方々に感謝、などなど言い尽くせません。

そして、忘れてはならないのは、最前線で治療にあたってくださった医療関係者の皆様への感謝ではないでしょうか。

ありがたいことばかりです。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、通常の生活に戻りつつあることに感謝をし、今できることに精一杯取り組むことの素晴らしさを実感することができるようになりたいと思います。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、学校再開にあたって大切にしたいことは「子供が学校生活を創る」ということです。そのためには最低限のルールは決めて、後は子供たちに考えさせたいと思っています。最低限のルールとは次のことです。

- ① 「自分を大切に」(命を大切にする。)
- ② 「友達を大切に」(人が傷つくことは言わない。)
- ③ 「みんなを大切に」(人に迷惑をかけない。)

この3つのこと以外は、自分たちで考えていくのです。新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式」が示されました。明化小学校でも学年に応じて生活様式を子供たちの力で考え実行していくことができるのではないかと考えています。「やらされている」ではなく「やる」のです。「やらされている」と「やる」では、その取り組み方に違いが出てきます。「やる」という意識をもつことで子供たちの主体性が生まれてくるものだと思うのです。

「やらされている」意識から「やる」意識への変革。このことを常に念頭に置きながら、子供たちの自立に向けての教育活動をスタートさせます。